

令和2年度 日置市立上市来中学校『学校便り』



しげひら

第9号 令和3年2月26日

学校ウェブサイト: www.ed.city.hioki.kagoshima.jp/~jh-kamityu/blogn2611a/blognplus/

上市来中キャッチフレーズ

～個性輝き，協力し，笑顔あふれる学校～

おもな行事



9日(火)・10日(水)

公立高校入試(3年)

10日(水) 文化財・職場訪問(1・2年)

11日(木) 球技大会

12日(金) 3年生を送る会

ガーデンプランニング

15日(月) 卒業式予行 式場準備

16日(火) 第74回卒業式

18日(木) 2年生実力テスト

25日(木) 修了式

持続可能な社会について

校長 西園浩二

上市来中の正門を過ぎると、大きなイチョウやカエデの木々があります。体育館前には生徒のみなさんが植えたパンジー，職員玄関前には山茶花，そして紅梅や白梅が色鮮やかな花を咲かせています。今年は新たに、ソルコザクラがピンクの花を咲かせ始めています。自然の移り変わりが花を通して感じられ，暖かい春の訪れを一番に知らせてくれているように思います。子どもたちも元気な声が響き，学校生活を満喫しているように感じます。



しかし，2月13日(土)には福島県・宮城県の近海を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生しました。東日本大震災から10年，幹線道路や新幹線が土砂崩れにより遮断され，復旧には10日間ほどかかると報道されていました。当日予定されていた大学入試も，延期や追試が実施されるとのことでした。

新型コロナウイルス感染症の広がりや地球温暖化に伴う異常気象。これまで見られなかった超大型台風やゲリラ豪雨，そして洪水や土石流，地震や津波などの自然災害。ひとたび，身近なところで起こればこれまでの平和な生活は失われ一変します。

これからの社会をどう生き抜くのか，持続可能な社会の実現がこれから生きていく人間にとって，問われるようになってきています。現在，持続可能な社会をつくるために世界規模でのSDGs(持続可能な開発目標)に取り組んでいます。地球温暖化防止のため化石燃料(石油)に変わるエネルギー開発が急務です。化石燃料(石油)資源もあと50年と言われています。



これからの社会の形成者として未来の社会について考え，いかに関わっていくのが重要であると思います。「最大多数の最大幸福」，もちろん自分にとっての幸福の追求「自利」は守るべきものであると同時に，「利他」周りの社会や人との共存・共栄が持続可能な社会へのキーワードであるように感じます。そのために自分にできることは何なのか。そのようなことを考える時代がやってきています。

中学校入学説明会

2月5日(金)



中学校の英語の授業を体験しました。アルファベットを全員で並べたり，英文クイズを考えたりして，楽しい20分間を過ごしていました。

Let's Enjoy and Study English♪

入学説明会では，上市来中の学校紹介と学校生活における決まりや学習等について，上小6年生と保護者の方々に説明しました。



上小6年生と保護者の皆様，ありがとうございました。4月6日の入学式，お待ちしております。



鹿児島学習定着度調査

1月13日(水)・14日(木)の2日間で鹿児島学習定着度調査が実施されました。県内の中学1・2年生を対象に、5教科の定着率を調査しました。基礎基本と思考表現の2部構成の調査となっており、生徒一人一人のこれまでの学習定着状況を把握することができました。下の表は、前回(中1は小5、中2は中1)と今回の調査における県値差を比較した数値になります。

	国語	社会	数学	理科	英語
1年生	-3.5	+11.8	-0.1	-17.0	
2年生	+8.4	+4.3	+3.7	+2.6	+2.5



ひおき学検定&質問タイム



ひおき学検定に取り組む2年生

2月13日(土)に「ひおき学検定」と「質問タイム」が行われました。一人一人が目標をしっかりとって取り組むことができていました。



英語検定3級！全員合格！



3年生9名全員が、日本英語検定3級に合格しました。
努力の3年生、本当に全員よく頑張りましたね♪

南日本新聞2月6日(土)「若い目」掲載

弟の決意にエール 上市来中2年 徳重 瞳

1月20日付の本紙「若い目」で、小学校6年生の弟が書いた「ゲーム鬼は外」を読んで驚いた。日頃、長々とゲームをして母に怒られている弟が、「ゲームの前に宿題。少年団の監督や両親に感謝と、中学校入学を前に、しっかりした考えをもつようになった」と感心した。

以前ゲームを強引にやめさせるため、母と一緒に弟のゲームを隠したことがある。しかし弟は家中を探して見つけ出したつわものだ。きつとこのゲーム鬼は相当手ごわい。正直、不安も感じる。

中学校生活は弟が考えるよりもずっと大変だ。委員会や部活動も忙しくて帰る時間も遅くなる。テストの結果も意識するようになるから勉強も大変だ。友達とゲームをする時間は減るはずだ。

だからこそやることの順番を守って、周りへの感謝をもって過ごしたいという意思を貫いてほしい。そうすれば、「ゲーム鬼は外、福は内」は必ず実現できるはずだ。姉としても、先輩としても、頑張る弟を応援したい。



先輩から学ぶ



発電体験器具やエアロバイク等を活用し、電気の仕組みやその役割、そして地球温暖化について考える良い機会となりました。



2月12日(金)2年生の総合的な学習の時間に「先輩から学ぶ」が行われました。九州電力から2名の講師の方々に来ていただき、エネルギーについて学習しました。



南日本新聞1月20日(水)「若い目」掲載

ゲーム鬼は外 上市来小6年 徳重 翔太

ぼくはゲームが好きです。学校から帰るとすぐにしてしまいます。休みの日も親の目をぬすんでやっています。一度やりだすと時間を忘れて続けてしまうので、お母さんにいつも「いつまでやるの。早くねえさい」と言われます。

だから節分の日には、鬼の顔と「ゲーム鬼出て行け」とかいて、思い切り豆を投げつけたいと思います。そして強い気持ちをもって、短めに時間をきめてゲームを楽しみたいと思います。

今年は中学校に入学するので、いっぱい入ることが内に入ってほしいと思います。そのために今はゲームの後回しで、てげてげになる宿題をゲームの前に自分から進んでするようにし、ソフトボール少年団でも後はいいリードしていきたいです。監督や両親にも感謝の気持ちを持ち、いいことをすることで、福を呼びたいのです。

なので、節分の日には「ゲーム鬼は外、福は内」とかけ声をかけます。

